神港学園報

2014
February
第69号

Contents

逃げない …… P1
理事長　植 村　武 雄

先見性を持って未来を拓こう!! …… P1
学校長　豊 田　稔

神港魂 …… P2
育友会　会長　山 崎 雄 史

新しい交わりのすすめ ～卒業に際して贈る言葉～ …… P2
金星会　会長　加 藤　均

君たちと出会えて、ありがとう …… P3
第3学年主任　森 本　英 之

ご卒業おめでとうございます …… P3
生徒会　副会長　下 村　佳 央

育友会の主な活動 …… P4

本年度の進路状況について …… P5

平成25年度　進路状況 …… P6

各賞の受賞者（卒業生） …… P7~8

活躍する各クラブ …… P9~10

税の作文「税について思うこと」 …… P11
1年4組　杉 内　佑 真
1年6組　山 口　聖 太

発行人　学校法人　神港学園

〒650-0003　神戸市中央区山本通4丁目19番20号　TEL.(078)241-3135　FAX.(078)232-1570
http://www.shinko.ed.jp　E-mail. info@shinko.ed.jp

逃げない

◀◀ Message

理事長
植村　武雄

第66回生の諸君、卒業おめでとう。
保護者の皆さま、おめでとうございます。
理事会を代表して、心からのお祝いを申し上げます。
諸君には、これからの人生それぞれに、本学園でともに学び、語り合い、行動する中で身に付けられた「品位」と「規律」と「持久力」を忘れず、さらに磨き上げてほしいと願って止みません。いよいよ、本格的に人生の旅立ちです。これまでの「教わる」から「調べて学ぶ」へ、そして他者に「教える」立場へと、人間としての成長の階段を登っていってほしいと思います。皆さんは、これから大人として、自ら考え、自ら行動し、自身のかけがえのない人生を切り開いていかれるわけです。
今、わが国の経済社会は、いわゆるアベノミクスが展開される中で、長期デフレ下の逼塞感から脱却し明るい展望を描けるようになっています。国内経済全般に亘っての景気上昇にはまだまだですが、2020年の東京オリンピック誘致成功もあって、飛躍への強い上昇志向が生じています。このようなときに、高校生活から巣立っていく諸君には、弱気にならず、信じるところをブレずにやり抜く、そんな今後の活躍を期待しています。
そこで、私は諸君に「逃げない」という言葉を贈りたいと思います。重ねて申し上げます。皆さんは今まで、教わる、指導を受けるといったいわば受身中心で過ごしてこられたと思います。しかしこれからは、自ら学び考え、行動していくという主体性が求められます。
教わっていないからわかりませんという言い訳はこれからは通用しません。単に逃げていると思われるだけです。わからなければ、自らよく調べ考えること、そして、積極的に他者の意見に耳を傾けることです。諸先輩や家族、そして何よりも本学園で友情を育んだ友達の考えを聴いて判断することです。私が「逃げない」というのは、こういう意味です。また、大きな困難、嵐に直面したとき、岩陰に身をひそめて耐え忍ぶことも「逃げない」ということです。やみくもに突進することが「逃げない」ということではありません。
私は、皆さんには、この「逃げない」という言葉をキーワードとして、強い人間になってほしい。人間力を身につけてほしい。自分のためだけでなく、世のため人のため、かけがえのない、存在感のある大人になって下さい。
最後になりましたが、教職員の皆さまの情熱とご尽力に感謝申し上げ、私の祝辞とします。

先見性を持って未来を拓こう!!

◀◀ Message

学校長
豊田　稔

66回生の皆さんご卒業おめでとう。
皆さんはいよいよ高等学校の生活からそれぞれの進路へと旅立ちます。21世紀になって、少しは良き時代の到来を期待していたのですが、テロ事件、戦争、犯罪に加え、自然現象による甚大な被害等が世界規模で発生しています。一方で、富士山の世界文化遺産登録や東京が2020年オリンピック・パラリンピックの開催地に決定したことは、我が国の未来を切り拓く明るい話題として喜ばしいことでありました。
この21世紀での活躍が期待されているのが若い皆さん方です。
早いもので、入学して3年が経過しようとしています。皆さんが入学以来、折あるごとに自分の命は勿論のこと、他人の命も大切にしてほしいと話してきました。これは「思いやりの心」を育てていかないとできません。さらに、本学園の建学の精神である「個性」を伸ばすために、学習面では基礎・基本を身につけ、学校行事、クラスや部活動等で、多くの友人と語り合うことを希望してきました。学園で素敵な出会いがあり、充実した日々の中で自分の良いところを伸ばし、自分の人生設計の礎ができたのではないでしょうか。
そこで、人生設計をする上で大切な要素の一つ『先見性』について考えてみたいと思います。この『先見性』について、松下幸之助氏は「松下幸之助の経営問答」（PHP総合研究所編）の中で次のように書いておられます。
『先見性とは、単に未来を予想するのではなく、むしろ未来を創造していくという心がまえが必要でしょうな。こうなるのだろうというのでなくこうあってほしい、こうあるべきだというビジョンを描いて、それを努力して実現させていく。いいかえれば未来を不確実なものでなく、確実なものにしていくということです。』
未来を予測する力ではなく、努力して将来を確実なものにしていくことが「先見性」を持つことなのです。
この21世紀を担う皆さん一人一人が先見性を持って、知恵と活力を人々の安心・幸福のために活用し、確実な未来を創っていって下さい。
本学園は平成26年5月には創立90周年を迎えます。歴史と伝統を活かし、勉学・スポーツ等を通して、一人一人の持つ個性が輝き、社会で活躍する若人の育成と活気ある学園を目指し、教職員一同、生徒達と頑張ってまいりますので、卒業後も周りから温かい応援をお願いします。
最後になりましたが、保護者の皆様、3年間温かいご支援とご協力を頂きましたことに、心から厚くお礼申し上げますと共に、お子様の益々のご活躍を心から祈念いたします。

神港魂

◀◀ Message

育友会　会長
山崎　雄史

このたび、卒業される66回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、三年間、温かく見守ってくださいました保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

三年に渡る学園生活を終え、今まさに羽ばたかんとする卒業生の皆さん、この三年はいかがでしたか?有意義だった人、苦しかった人、それぞれに色々な思いを胸に秘め、高校生活に幕を閉じようとしていることでしょう。

高校生活は三年間という短い期間ですが、単に机に向かって勉強するだけではなく、部活動などの課外活動もあり、さらには進路や友人関係、恋愛などで思い悩むこともあったのではないでしょうか。このように心身ともに充実した学生生活を過ごせたことは、大変意味があることだと思います。

これから皆さんは、進学や就職など、それぞれの道を歩まれますが、その道の途中では、かならず多くの困難に直面することと思います。傷つき、深く悩むこともあるとは思いますが、そのとき、神港学園で培った「品位」「規律」「持久力」が大きな助けになることでしょう。また、この学園で出会った友人たちは、皆さんを支える大きな力となることでしょう。皆さんが、これからの人生で経験するであろう、そうした試練が、皆さんをさらに成長させてくれると思います。

現在、皆さんを取り巻く教育や労働環境は、アベノミクスなど政府の経済対策により少しは改善の方向に向かいつつありますが依然厳しい状況が続いております。

皆さんの若く元気で前向きな力は、必ずや将来の日本を、明るく元気あふれる社会とする原動力になると確信しています。今後とも神港魂をもって幅広い分野で活躍されますことを心から期待いたします。

最後になりましたが、今日まで熱心にご指導いただいた校長先生をはじめ諸先生方、また、三年間、育友会活動にご理解、ご協力いただきました保護者の皆様に対しまして深く敬意を表しますとともに、心から厚く感謝申し上げます。今後とも神港学園を御支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さんの御健勝と御活躍をお祈りしております。

新しい交わりのすすめ ～卒業に際して贈る言葉～

◀◀ Message

金星会（同窓会）　会長
加藤　均

このたび、卒業を迎えられた皆さん、おめでとうございます。また、卒業生のご家族の皆さまにも心よりお祝い申し上げます。

入学以来、卒業までの三年間を神港学園で過ごし、今皆さんは一体どのような気持ちを持って学び舎を巣立ちゆこうとしているのでしょうか。勉強や部活動、学校行事などに取り組んだ十代後半の日々の思い出は、宝石のような輝きを放っていることでしょう。

私が神港学園を卒業したのは、もう六十有余年前です。改めて考えるとずいぶんと年月が経ったものですが、私の感覚ではどうしても私の巣立ちの時がそんなにも前だったとは思えないのです。「私は、あれからどれだけ成長することができたのか?」この問いは卒業以来自分自身に何度投げかけたかわかりません。私は、年を重ねるということは、今の自分を少しでもより良き存在に高めることだと思っています。

卒業生の皆さんは、これから新しい世界に漕ぎ出していきます。そこには、慣れ親しんだ友や、時には厳しく時には優しく接してくれた先生はもういません。新しい場所で人間関係を築き、より多くの人々と関わっていかなければなりません。

私は、今自分が神港学園を卒業してからどれほど成長し、「より良き存在」になり得たかという問いに対して、確たる答えを持ち合わせていません。しかしながら、自信を持って言えるのは、卒業以来、多くの人々と交わることによって、自分の見聞を広げることができたということです。そして、そのことは私の人生を豊かにし、時には危機を救ってくれたことさえあったのです。

新たな人生を歩み出す後輩諸君に、私はより多くの人々と胸襟を開いてその関係を築いていくことの大切さを心からお伝えしたいと思います。皆さんの前途の洋々たることを心から願っております。

「君たちと出会えて、ありがとう」

◀◀ Message

第3学年　主任
森本　英之

第66回生のみなさん、卒業おめでとう。保護者の皆様におかれましても、新たな門出の時を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。同時に、入学以来本校の教育に何かとご理解ご協力をいただき、厚く感謝いたしております。数ある私立高等学校の中から、2011年の4月にこの神港学園を選び入学してくれた377名。別の道を歩むことになったために、一緒にこの日を迎えられなかった友もいるけれど、ここに338名の卒業生を迎えることが出来た事に安堵しています。

入学以来の3年間、早朝や夕方遅くまでの基礎練習。全国大会・県大会を目指して頑張った部活動。修学旅行は、北海道とインドネシア・バリ島に行きました。北の大地でスキー、南の島でマリンスポーツ、英語も少しは通じたかな?やっぱり学校は、授業です。補習で、遅くまで頑張った。今年になれば、進路が心配でした。今から出て行く社会では、派遣や請負の臨時的雇用が多くて厳しい正社員採用の中、進路指導部の的確で懇切丁寧な指導のもと、希望者はほぼ全員内定を手にしてくれました。専門学校・大学進学者も、確実に合格を手にしてくれ、まだ現在でも諦めずにもう一段高いレベルに挑戦している諸君がいます。良い結果が出てくれる事を、祈っています。

高校時代は、社会人としての人間性が形成される時期です。そして社会への入り口、橋渡しの時期として位置づけられます。いろいろな夢と価値観を持つ君たち。新たな場所で、新たな人たちとの交流を通じて人間力を高め、新しいステージでなれる自分じゃなくてなりたい自分になってほしい。

ここでいう「人間力」とは、何事にも真摯な態度で取り組む・人の気持ちや生き様を理解する・自分で考え自分で動ける・どんどん可能性を広げる・物事に柔軟に対応できる・集団活動に積極的に取り組むことです。

3.11と、原発の悲劇を経験した（知ってしまった）私たち。騙されないこと、学ぶことの大切さと、細部にこだわり（神は細部に宿るともいう）日常を誠実に積み上げて人生のシワを刻んで下さい。

チャップリンの映画「ライムライト」で、『人生に必要なものは、勇気と想像力と少々のお金だ』という台詞がありました。自分を大切にして、活躍して下さい。

第66回卒業生諸君に幸あれ、元気で。

ご卒業おめでとうございます

◀◀ Message

生徒会　副会長
下村　佳央

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんはこの高校3年間をどのように過ごされましたか。

私はまだ1年生なので先輩達とはあまり関わる機会がありませんでしたが、きっと充実した3年間だったと思います。この3年間の高校生活で先輩方は各学行事で様々な思い出をつくり、仲間との協調性を高めたことでしょう。先輩方の中にはこの高校3年間とても充実していた人、多くの困難にぶつかり苦労をした人など様々だったと思います。しかし、この3年間で得た知識や経験が将来の自分に役に立つことでしょう。私達1・2年生にとっても先輩方と過ごした時間は短かったけれど貴重な時間でした。1年生はこの1年間、中学から高校へ進学し、慣れない環境で新しい学校生活を送ることに戸惑いと不安が隠せませんでした。でも、先生や先輩方が色々な面でサポートしてくれたおかげでこの1年間を無事に過ごす事ができました。体育祭や文化祭などの学校行事は準備に時間がかかり、各学年、各部活動ともに忙しく大変でしたが、その分当日は盛り上がり、楽しく終える事できました。

先輩方はこれからそれぞれ自分の進路へ向かって進んでいかれると思います。今までとは違う新しいことやそれに伴う苦労があると思います。ですが、そんな時は高校生活で学んだことや経験を活かし自分の未来へつなげるよう頑張って下さい。

最後に、3年生の皆さん、本当にありがとうございました。これからもそれぞれの夢に向かって頑張って下さい。

育友会の主な活動

平成25年度

育友会総会（5月11日）

平成24年度事業報告、決算報告

平成25年度事業計画案、予算案提出

新役員選出、学級委員承認

親睦旅行（6月1日）

岡山／備前方面（閑谷学校見学・塩づくり体験）

文化祭に向けての教養委員会（第1回）（7月13日）

文化祭準備、教養委員会（第2回）（8月17日）

おふくろ庵メニュー（焼肉丼）試食会、
ポスター・食券等作成作業

文化祭前日準備（10月4日）

バザー品値付け、調理器具準備他

文化祭（10月5日）

おふくろ庵、バザー

生徒指導合同懇談会（12月7日）

本校の生徒指導について

本年度の進路状況について

進路指導部より

平成25年度の就職状況については、5年前の経済危機、震災、円高等の不況も底が見え、求人数も徐々にゆるやかな回復傾向となってきました。しかし即内定につながることは難しく、兵庫県内の高校生の就職希望数は6000人を超え、本校の就職希望者も昨年度より20名も増加しており、非常に厳しい戦いとなりました。そんな状況の中「筆記試験での学習能力」をまずボーダーに設定する企業が増え、「面接試験での対応力」「適性試験での仕事力」など総合的に企業が求める人材かどうかで内定が決まるというのが本年度の特徴でした。本校でも早い時期から指導を開始し、学校推薦での就職希望者全員に問題集を購入させての家庭学習や個別指導はもちろんのこと、面接指導においてもVTRを使用しての客観的学習法など夏休み返上で行った結果、第1次受験者の内定率が64%（県全体は60%）となりました。2次募集以降の求人も極端に少ない中での苦しい戦いではありますが、生徒達は粘り強く挑戦し、12月には学校推薦の生徒達の内定率も89%にまでこぎつける事ができました。まだ未決定の生徒達も2月以降の一般求人も含めてあきらめず就職活動を継続しています。来年度についても進路指導部としてはここ数年の経験をふまえ、就職に対して取り組む姿勢の重要性や内定獲得に向けてのきめ細やかな入社試験対策の指導を心がけていきたいと考えています。

平成25年度の卒業予定者は338名、そのうち191名が四年制・短期大学へ、71名が専門学校に既に合格しています。

全体的な傾向としては、資格取得を目標に据えた専門学校や短期大学への進学を希望する生徒達が、複数校の比較検討を早期に始めた点に比べ、四年制大学文系を志望する生徒達の活動が遅く、オープンキャンパス参加や学部学科の絞り込みに主体的な姿勢が感じ取れない場面が目立ちました。特に、指定校やAO入試など、学科試験を課さない入試制度を利用する場合に、「総合・地域政策」「公共経営」「ビジネス法学」「起業家養成」など、年々細分化する専攻内容に自分の将来像を当てはめることが難しく、志望理由書の作成や面接準備では、非常に素直に指導を受ける一方で、身の回りの出来事に関する興味・関心のレベルの低さが見受けられました。

ここ数年の高校生の気質・意識面の変化として、「明るく元気だが、何か冷めている感がある。」「自分はこの程度で、という限界を設定し、その中で普通に生きることに満足している。」「優しく、従順で、無邪気になっているといえるが、強さが不足している。」「保護者も学校も、子供がつまずくことのないように、大事に守って育ててきている影響。」のような意見が、全国の進路指導担当者を対象としたアンケート調査に寄せられています。

「ほんの一歩抜きん出る」「ひと味加える」ことは、各人の心がけ次第で毎日の時間の過ごし方の中に取り込むことができます。自分で思いつかない場合は、担任や授業担当の先生方に、先輩の成功例を聴いてみるのも自分の軌道を修正する近道となります。

ちょっとした自宅学習の工夫や周囲の人々との交流に変化をつけることが、高校卒業後の進路の選択肢を増やすことにつながります。1、2年生の生徒諸君も、日常の授業と定期考査に力を注ぐことは当然ですが、社会勉強と称してアルバイトばかりに手間暇かけず、模試や、漢検、英検、数検など、高校生としての学力を客観的に判定してくれる機会を自主的に利用する必要があります。スポーツ選手と同様、「勝つか負けるか」ごまかせない結果を受け入れる緊張感を是非味わって下さい。

平成25年度　進路状況　平成26年1月15日　現在

4年制大学合格者　171名

大学名	学部名	合格人数
亜細亜大学	経営学部	1
芦屋大学	臨床教育学部	1
環太平洋大学	次世代教育学部	1
関西国際大学	教育学部	4
関西福祉大学	社会福祉学部	1
	発達教育学部	1
京都産業大学	コンピュータ理工学部	1
	経営学部	1
	経済学部	1
	文化学部	2
	法学部	2
	理学部	1
近畿大学	経営学部	2
	工学部	1
	産業理工学部	2
	生物理工学部	1
近大姫路大学	看護学部	2
甲南大学	知能情報学部	1
国士舘大学	21世紀アジア学部	1
阪南大学	経営情報	1
	経済学部	2
神戸医療福祉大学	社会福祉学部	1
神戸学院大学	経営学部	3
	経済学部	5
	人文学部	3
	総合リハビリテーション学部	3
	法学部	7
神戸国際大学	経済学部	6
神戸夙川学院大学	観光学部	1
専修大学	経営学部	1
相愛大学	人間発達学部	1
太成学院大学	人間学部	1
大阪学院大学	経営学部	1
	経済学部	8
	国際学部	1
	商学部	2
	法学部	2
大阪経済大学	経営学部	1
	経済学部	6
	人間科学部	1
大阪経済法科大学	経済学部	4
大阪工業大学	工学部	1
大阪産業大学	経済学部	1
	工学部	2
	人間環境学部	3
大阪商業大学	経済学部	4
	総合経営学部	5
大阪人間科学大学	医療福祉学部	1
	人間科学部	3
大阪電気通信大学	工学部	3
	情報通信工学部	1
	総合情報	1
大手前大学	メディア・芸術学部	2
	現代社会学部	2
	総合文化学部	1
追手門学院大学	経済学部	1
	国際教養学部	3
天理大学	文学部	1
東海大学	政治経済学部	1
東洋学園大学	現代経営学部	1
同朋大学	文学部	5

大学名	学部名	合格人数
奈良大学	文学部	3
姫路獨協大学	薬学部	1
武庫川女子大学	健康スポーツ科学部	1
福岡大学	スポーツ科学部	1
兵庫医療大学	薬学部	2
兵庫大学	経済情報学部	2
	健康科学部	2
	社会福祉学部	1
流通科学大学	サービス産業学部	13
	商学部	11
	総合政策学部	2
龍谷大学	経営学部	1
	理工学部	1

専門学校合格者　71名

専門学校名	合格人数
グラムール美容専門学校	1
トヨタ神戸自動車大学校	3
ハーベスト医療福祉専門学校	1
ビジュアルアーツ専門学校	1
ヘアラルト阪神理容美容専門学校	1
マロニエ文化学園マロニエファッションデザイン専門学校	1
関西外語専門学校	1
関西健康科学専門学校	3
関西保育福祉専門学校	1
阪神自動車航空鉄道専門学校	2
修成建設専門学校	3
上田安子服飾専門学校	1
新大阪歯科技工士専門学校	1
神戸スポーツアートcocoro専門学校	2
神戸ベルェベル美容専門学校	2
神戸医療福祉専門学校	5
神戸医療福祉専門学校三田校	1
神戸国際調理製菓専門学校	2
神戸製菓専門学校	1
神戸電子専門学校	8
神戸動植物環境専門学校	2
神戸理容美容専門学校	1
大原簿記専門学校　スポーツ産業学科	2
大原簿記専門学校神戸校	3
大阪コミュニケーションアート専門学校	1
大阪モード学園専門学校	1
大阪リゾート&スポーツ専門学校	2
大阪医専	1
大阪観光専門学校	1
大阪航空専門学校	1
大阪社会体育専門学校	1
辻調理師専門学校	1
東京工科専門学校	1
日産京都自動車大学校	1
兵庫栄養調理製菓専門学校	1
平成リハビリテーション専門学校	3
放送芸術学院専門学校	3

短期大学合格者　12名

大学名	学部名	合格人数
関西外国語大学	短期大学部	1
京都外国語短期大学	キャリア英語	1
港湾職業能力開発短期大学校	神戸校	1
港湾職業能力開発短期大学校	神戸校港湾技術科	3
高山自動車短期大学	自動車工学科	4
大阪芸術大学短期大学部	メディア・芸術学科	1
湊川短期大学	幼児教育保育学科	1

就職合格者　63名

企業名	合格人数
一般社団法人全日検　神戸支部	1
株式会社キューソーエルプラン西日本	1
神戸エムケイ株式会社	1
鴻池運輸株式会社　六甲営業所	1
朝日石油株式会社	1
株式会社関西スーパーマーケット	1
株式会社リブマックス	1
株式会社コスモス薬局	1
株式会社ホテルオークラ神戸	1
株式会社中の坊・有馬グランドホテル	1
株式会社ホテルニューアワジ	3
医療法人社団松下会	1
TKB株式会社	1
海鮮まる　三宮店	1
ホルモン屋　ぎんちょう	1
有限会社メリーゴーランド	1
関西明装株式会社	1
ALSOKあさひ播磨株式会社	1
陸上自衛隊　自衛官候補生	4
滋賀県警察官	1
株式会社ウェイズ	2
神鋼建材工業株式会社	1
カネテツデリカフーズ株式会社	1
株式会社神鋼環境ソリューション	1
山九株式会社　兵庫支店	1
神和鈑金工業株式会社	1
株式会社中央自動車鈑金工業所	1
増屋株式会社	1
日新シール工業株式会社	1
株式会社石原鉄工所	1
株式会社ケーニヒスクローネ	1
安田塗装	1
芳生グラビア印刷株式会社	1
株式会社エヌアイエス　関西営業部　枚方営業所	1
北斗株式会社	1
株式会社アーネストウイング	1
品川ファーネス株式会社	1
伊藤電設	1
株式会社イナバ	1
株式会社五島組	3
シモハナ物流株式会社	1
中央港運株式会社	3
兵食運輸株式会社	3
トウメイ株式会社	1
日本港運株式会社	1
アサヒカルピスビバレッジ株式会社　近畿圏支社	1
日本通運株式会社　大阪国際輸送支店	1
日栄運輸株式会社	1
昌栄運輸株式会社	1
株式会社サカイ引越センター	1
住之江冷蔵株式会社	1

表彰を受ける者

各賞を受賞する者および代表者

卒業証書授与総代	9組	湯川　一樹
日本私立中学高等学校総連合会賞受賞者	8組	田村　朋葵
皆勤賞受賞代表者	2組	森副　太登
精勤賞受賞代表者	8組	吉岡　ひかる
クラブ功労賞受賞代表者	5組	楠本　政明
金星会賞受賞者	3組	藤田　隼人
育友会賞受賞者	9組	和田　隼人
	9組	山下　泰史
答辞	9組	井畑　裕貴

皆勤賞を受賞する者(44名)

1組　大西敦貴、下園逸人、鶴田寛人、田原　涼
2組　冠野浩之、草野友汰、森副太登
3組　堺　優司、下園剛史、城谷泰生、藤田隼人
4組　石井聡一郎
5組　花本海翔、藤井慎太郎、宮本雄輝、薮内大樹、山口修司
6組　東　俊宏、石井裕也、重久一輝、宮本宜昌
7組　大谷昭仁、塩濱正悟、神道有基、末松泰平、高橋理岐、髙村和暉、野村聖人、宮本航希
8組　泉　優希、岩井和輝、栗岡千尋、鈴木　達、竹中淳也、田村朋葵、東原裕人
9組　太田　瑛、大田　透、川添雄大、竹田　翔、中川廣樹、樋口友祐、山﨑貴博、和田隼人

精勤賞を受賞する者(59名)

1組　島　翔太、福山千嘉斗
2組　小北知也、原田龍二、森田悠樹仁
3組　関東泰秀、藤原昇汰
4組　川野友樹、笹辺健斗、佐野木陵介、瀬戸健生、高見雄大、藤井晴也、吉元　樹
5組　今西勝也、岩本健太郎、榎勢正志、大澤佑馬、小西玲雄、新郷達也、中野　遼、藤原竜輝、松永陵平
6組　上田茅奈、岡本昌大、関塚慧太、髙垣　尚、辻本良治、時本大夢、戸田直之、原田恭佑、増田　豊、柳口勇哉、山下智哉、吉住勇登
7組　大松直矢、志　俊希、田中尚矢、西川周翔、細目真之介、宮城優弥、向井和輝、元浦寛貴
8組　有田憲央、池内裕季、岩崎大地、川口堅太、坂本利樹、里　雅矢、滝本裕隆、田口裕己、西川隆太郎、宮本直貴、吉岡ひかる、吉田　晃
9組　阿部健人、兒玉直優、佐藤佑哉、湯川一樹

クラブ功労賞および功績

バレーボール部(12名)

平成25年度近畿高等学校バレーボール優勝大会
出場
1組　武田　涼
1組　鶴田寛人
2組　草野友汰
2組　徳島一輝
2組　原田龍二
3組　関東泰秀
4組　佐野木陵介
4組　陣内翔太
4組　高見雄大
6組　時本大夢
6組　増田　豊
7組　大谷昭仁

空手道部(5名)

平成25年度近畿高等学校空手道大会
団体・個人組手 出場
4組　山本　憲
平成25年度近畿高等学校空手道大会
団体組手 出場
4組　後藤　司
4組　大川直希
4組　吉元　樹
5組　渡辺　奎

剣道部(2名)

平成24年度第50回近畿高等学校剣道大会
男子団体の部　出場
2組　森田悠樹仁
4組　瀬戸健生

柔道部(3名)

近畿高等学校新人柔道体重別選手権大会
1組　下園逸人　66kg級　3位
3組　下園剛史　60kg級　5位
7組　宇根栞奈　70kg級　3位

軟式野球部（14名）
平成25年度　春季　兵庫県高等学校　軟式野球大会
優勝
平成25年度　春季　近畿地区高等学校　軟式野球大会
出場
1組　島　翔太
2組　松本耕平
3組　堺　優司
3組　瀬木雄也
3組　藤田隼人
3組　滿平　椋
4組　石井聡一郎
4組　中村純太
5組　榎勢正志
5組　大澤佑馬
5組　田邉優生
7組　中野将希
7組　元浦寛貴
8組　北田昌己

ゴルフ部（1名）　8組　吉岡ひかる
平成24年度　第33回　関西高等学校
ゴルフ選手権　春季大会　出場
平成24年度　関西高等学校　ゴルフ対抗戦
女子団体　7位

陸上競技部（1名）　5組　楠本政明
平成25年度　全国高等学校　総合体育大会
陸上競技大会　三段跳　出場
平成25年度　第68回　国民体育大会
陸上競技大会　三段跳　出場

平成25年度　マラソン大会順位

第1学年

1位　松村拓海　（6組）
2位　三浦悠斗　（5組）
3位　須賀啓介　（3組）
4位　宮野　翼　（8組）
5位　高島英樹　（2組）
6位　岩城育海　（8組）
7位　秋山ひなた（4組）
8位　指出克久　（3組）
9位　幾田康友　（5組）
10位　壁屋優剛　（9組）

第2学年

1位　山田克紀　（8組）
2位　前田航太　（6組）
3位　山内　凌　（1組）
4位　佐藤泰源　（7組）
5位　高橋大樹　（7組）
6位　本多俊介　（7組）
7位　坪久田和也（1組）
8位　幸村達也　（5組）
9位　山本浩之　（3組）
10位　小牧風生　（8組）

女子の部

1位　松本みずき（2年）
2位　秋葉美咲　（2年）
3位　谷口帆乃香（1年）
4位　堀内一星　（1年）
5位　田中満帆　（1年）

活躍する各クラブ

硬式野球部

第95回全国高等学校野球選手権兵庫大会　ベスト32
平成25年度秋季兵庫県高校野球大会　ベスト16

柔道部

平成25年度全日本カデ柔道体重別選手権大会(4月)
　66kg級　阿部一二三　優勝
ポーランドカデ柔道体重別選手権(ポーランド)(5月)
　66kg級　阿部一二三　優勝
第57回兵庫県高等学校総合体育大会(6月)
　男子団体　ベスト8
　男子個人　66kg級　阿部一二三　優勝
第67回兵庫県民大会柔道競技(7月)
　男子　73kg級　阿部一二三　優勝
平成25年度全日本ジュニア体重別選手権(埼玉県)(7月)
　男子個人　66kg級　阿部一二三　5位
2013世界カデ柔道選手権大会(アメリカ マイアミ)(8月)
　男子個人　66kg級　阿部一二三　2位
兵庫県私学柔道大会
　男子団体　2位
平成25年度兵庫県新人柔道大会(11月)
　男子団体　3位
　男子個人　66kg級　阿部一二三　優勝
　女子個人　52kg級　石田彩夏　3位
平成25年度全国選手権柔道大会個人戦兵庫県予選(12月)
　男子個人　73kg級　阿部一二三　優勝
平成25年度マロニエ賞(12月)
　阿部一二三　受賞
第55回近畿高等学校新人柔道大会
　男子個人　66kg級　阿部一二三　優勝
　男子団体　ベスト16
　女子団体　出場

軟式野球部

平成25年度春季兵庫県高等学校軟式野球大会　優勝
平成25年度春季近畿地区高等学校軟式野球大会　ベスト8
平成25年度秋季兵庫県高等学校軟式野球大会　優勝
平成25年度秋季近畿地区高等学校軟式野球大会　ベスト8

バレーボール部

第18回全国私立高等学校バレーボール選手権大会　出場
平成25年度兵庫県高等学校総合体育大会　ベスト16
平成25年度近畿高等学校バレーボール優勝大会　出場
第12回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会　ベスト8
　時本大夢　佐野木陵介
第66回全日本バレーボール高等学校選手権兵庫県大会　第5位
第59回兵庫県バレーボール高等学校新人大会　ベスト16

ゴルフ部

平成25年度関西高等学校ゴルフ対抗戦(団体)
　男子出場
　女子7位
平成25年度関西高等学校ゴルフ選手権大会　出場
　森　龍希(2年男子)　浅井雄一郎(2年男子)
平成25年度関西ジュニアゴルフ選手権競技　決勝　出場
　森　龍希(2年男子)　浅井雄一郎(2年男子)
平成25年度関西高等学校ゴルフ選手権　春季大会
　浅井雄一郎(2年男子)　4位　森　龍希(2年男子)　出場
平成25年度全国高等学校ゴルフ選手権　春季大会　出場
　森　龍希(2年男子)　浅井雄一郎(2年男子)

陸上競技部

第57回兵庫県高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会
三段跳　3年　楠本政明　優勝
第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会　近畿地区予選会
三段跳　3年　楠本政明　4位
平成25年度　第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
三段跳　3年　楠本政明　出場
平成25年度　第68回国民体育大会陸上競技大会
三段跳　3年　楠本政明　出場
平成25年度　日本ジュニア選手権大会
三段跳　3年　楠本政明　5位
第65回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
200m　2年　長町　融　準決勝出場

空手道部

平成25年度神戸市高等学校春季空手道大会
　個人組み手　2位　尾崎柊平
　　3位　芳端旺加
　団体組み手　2位
平成25年度全国火の國旗空手道大会
　団体組み手　5位
平成25年度総合体育大会兵庫県高等学校空手道大会
　個人組み手　5位　吉元　樹
　　5位　山本　憲
　団体組み手　5位
平成25年度兵庫県新人空手道大会
　個人組み手　5位　尾崎柊平
　団体組み手　5位
平成25年度全国高等学校桃太郎杯錬成大会
　個人組み手　出場
　団体組み手　出場
平成25年度近畿高等学校空手道大会
　個人組み手　出場　尾崎柊平
　団体組み手　出場

剣道部
平成25年度神戸市総合体育大会団体　3位
平成25年度神戸市新人剣道大会団体　3位

テニス部
平成25年度兵庫県高等学校総合体育大会
テニス　団体戦　ベスト32
平成25年度神戸・丹有地区夏季リーグ戦
　4部リーグ　4位

水泳部
平成25年度兵庫県高等学校総合体育大会　出場
平成25年度兵庫県選手権水泳競技大会　出場
第62回神戸市総合体育大会　出場
第56回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳大会　出場

卓球部
第68回国民体育大会卓球競技少年の部兵庫県予選会　出場

図書部
姫路文学館の見学
第29回図書館ゼミを開催
兵庫県立図書館　講座受講
講座内容：『郷土資料の探し方、調べ方』
神戸市立中央図書館訪問・兵庫県立図書館訪問
第37回兵庫県私立学校生徒図書委員研修会を開催（於・兵庫県立図書館）
テーマ：『本の魅力を伝えるPOP作り』
第61回文化祭に参加
テーマ：『神戸北野異人館を歩く』
第33回読書会を開催
作品：『白旗の少女』比嘉富子［著］
発行物
『僕たちの足どり－神戸北野異人館を歩く－』
『ヘロヘロ（漫画同人誌）vol.31　モアイ（創作雑誌）vol.25合併号』
『図書館便り番外編』No.71、No.72、No.73

鉄道研究部
伊賀鉄道「伊賀線ふれあいまつり」出展
阪急電鉄「阪急レールウェイフェスティバルIN王子公園」出展
JR大阪三越伊勢丹百貨店「鉄道グッズフェア」出展
京阪百貨店守口店「鉄道趣味の市」出展
近江鉄道「ありがとうフェスタ2013」出展
テレビ大阪「鉄道博2014」出展
地域イベント協力
御影クラッセ、コースステーション北神、「中央区ハートフルフェスタ」など

美術部
兵庫県高校総合文化祭美術展出品
兵庫県私学連合美術展出品
全日本学生美術展出品
県展出品

書道部
第55回大東文化大学　全国書道展
　金賞　関　昇一
　銀賞　幸神義樹
　銀賞　小西亮平
第37回兵庫県高等学校総合文化祭　書道展
　特選　関　昇一
　入選　小西亮平
　入選　幸神義樹
兵庫県私学総連合会　第46回　私学の書展
　入選　関　昇一
　入選　小西亮平
　入選　幸神義樹
第60回日本学書展
　入選　関　昇一
　入選　小西亮平
　入選　幸神義樹

ブラスバンド部
諏訪山神社盆踊り（諏訪山公園）
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL 2013出場
（神戸文化ホール）
金星会（同窓会）総会　招待演奏（ラッセホール）
神戸 JAZZ 2013ワークショップ参加（ジーベックホール）
神港学園神港高等学校　文化祭（神港学園神港高等学校）
神戸 JAZZ 2013出演（神戸文化ホール）
私学フェスタ2013出演（ハーバーランドスペースシアター）
みんな集まれX'masライブ開催
（NHK神戸放送局　トアステーション）

平成25年度「税に関する高校生の作文」入選者!!

税が果たす役割

1年4組　杉内 佑真

昔、一つの記事が目に止まった。それは日本がこれまで支援をしてきた、あるいは今も支援を続けている発展途上の国々が、今回の大震災の被害に遭った日本への寄付金を贈ってくれたというものだった。お小遣いも十分に貰っていない子ども達までもが今回の震災に心を痛め、お金を寄付してくれたそうだ。その記事を読んでいて思い出したのだが、今回の震災の時、過去に日本が何らかの援助をしてきた国は、恩返しだと言って日本を支援してくれた。確かに、他国で災害が起こったとき、日本から自衛隊や医療チームが派遣されていたことは知っていた。しかし、私が知らない支援がもっとたくさんあるのではないかと思い調べてみると、政府開発援助に辿り着いた。内閣でしっかりと審議がなされ、支援内容や予算について話し合われる。そして、このODAの財源は、言うまでもなく国民が納めている税金である。

感染症対策が必要な国にはワクチン、ワクチンの保存に必要な機材の調達を、教員免許を持たずに教えている教師が多い国にはマニュアルを作成したり、研修を実施して教員を養成し、時には学校の建設や工事まで行う。驚くべきことに、これらのほとんどは日本を含む先進国の無償資金協力で成り立っているのです。つまり、これらにかかる費用には私たちが納めている税金が使われているのです。

今まで僕は、自分たちが納めている税金の使い道は医療費の負担、公共事業など、自分たちに直接関係のあるものばかりを想像していました。しかしODAについて知り、自分たちが納めている税金が国境を越えて多くの人を助け、支えているんだとわかって、とても嬉しくなった。ODAに関して僕が最も感心したのは、「技術協力」という点だ。その名のとおり、技術と知識を伝えるということを目的とする支援だが、その時だけの支援ではなく、長い目で見てその国の発展を助けることができる支援だと思う。伝えた技術や知識はこれから先もたくさんの人々を救うことになるのです。このような税の使い道があるのならば、税金を納めることにも誇りが持てると思う。知らない間に、世界の助け合いの輪に自分たちも加わっていたんだと知り、少し嬉しく思うと同時に先進国に生きる自分たちの使命感を感じました。税金とは、弱者を守るべきものでなければいけないと、改め思いました。

賞状

税が果たす役割

神港学園神港高等学校 第一学年

杉内 佑真 殿

あなたは国税庁が主催する高校生の税に関する作文に応募され審査の結果 優秀と認められましたので これを賞します

平成二十五年十一月二十日

神戸市中央区相生町 租税教育推進協議会

代表幹事 橋本 敏彦

税

1年6組　山口 聖太

「税」ということばを聞いて、僕の頭に家族の二つのせりふが思い浮かんだ。

一つは、毎年四月頃に、郵便受けに入る振込用紙入りの封筒を開けながら母が言う「どうしてこんなにあちらからもこちらからも税金を取られるの。」と。もう一つは銀行通帳の引き落とし明細を見ながら祖母が言う、「こんな上等なベッドに寝かせてもろて、お金の心配せんでええ。ありがたいことや。」である

僕の家は、会社員の父、無職の母、八十四歳の祖母、中学三年の双子の弟、そして僕の五人である。

父の毎月の給料からは、扶養者が四人と多いにもかかわらず、結構な額の所得税や住民税が引かれる。住んでいる団地は持ち家だから固定資産税を払う。たまにしか乗らないが車もあるので自動車税も払う。父はたばこを吸いお酒も飲むので、たばこ税や酒税も間接的に払っていることになる。毎年楽しみにしている家族旅行で温泉に入る時も税がかかる。そして、ほとんど毎日買う食料品や日用品には消費税が含まれている。

書き並べていくうちに母があのように文句を言う気持ちもわからないではない。

一方、祖母は三級の障害者であり、また要介護1でもある。五十万円ほどする住宅用酸素は無料で使え、三十万円ほどする介護用ベッドのレンタルは一割負担するだけですむ。費用の心配をせず、最高水準の治療や介護を受けている。

祖母が「ありがたいことや。」という気持ちもよくわかる。

僕は、自分の家の中に、ひとつの税のシステムを見たように思った。納税と税による福祉面での恩恵が、僕の目の前で行われていたのである。

また、よく調べてみると、今まで僕が見過ごしてきた税による恩恵が、税の種類の多さに負けず劣らず、まだまだたくさんあることが分かった。

教育面では、授業は無償で受けることができ教科書も無料でもらえる。生活面では、道路や上下水道の整備など、健康や安全面では、病院や警察署、消防署の存在など、きりがないほどである。

賞状

税

神港学園神港高等学校

山口 聖太 殿

あなたは平成二十五年度「税に関する高校生の作文」募集に当たり右の作文を提出され審査の結果優秀と認められましたここに記念品を贈りこれを賞します

平成二十五年十一月二十日

神戸税務署長 橋本 敏彦